【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和5年7月12日(2023.7.12)

【国際公開番号】WO2022/102737
【出願番号】特願2022-562195(P2022-562195)
【国際特許分類】
A61K 31/4152(2006.01)
A61P 9/10(2006.01)
A61P 21/02(2006.01)
A61P 25/00(2006.01)
A61P 25/16(2006.01)
A61P 25/28(2006.01)
A61P 1/02(2006.01)
A61P 29/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ 31/4152
Ａ６１Ｐ 9/10
Ａ６１Ｐ 21/02
Ａ６１Ｐ 25/00
Ａ６１Ｐ 25/16
Ａ６１Ｐ 25/28
Ａ６１Ｐ 1/02
Ａ６１Ｐ 29/00

【手続補正書】
【提出日】令和5年4月25日(2023.4.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
エダラボンを有効成分として含有し、以下１）～３）から成る群より選ばれるいずれか１つの第１時間間隔：
１）高脂肪食類を摂取した場合は、摂取から８時間以上
２）通常食類を摂取した場合は、摂取から４時間以上
３）軽食類を摂取した場合は、摂取から２時間以上
を空けて、経口投与または胃内投与により投与することを特徴とする、医薬組成物。
【請求項２】
エダラボン投与から次の食事摂取までの第２時間間隔が３０分以上である、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項３】
エダラボン投与から次の食事摂取までの第２時間間隔が１時間以上である、請求項１または２に記載の医薬組成物。
【請求項４】
経口投与用である、請求項１～３のいずれか一項に記載の医薬組成物。
【請求項５】
胃内投与用である、請求項１～３のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項６】
前記胃内投与が、チューブによる投与である、請求項１から５のいずれか一項に記載の医薬組成物。
【請求項７】
前記チューブが、胃ろうカテーテルである、請求項６に記載の医薬組成物。
【請求項８】
前記チューブが、経鼻胃カテーテルである、請求項６に記載の医薬組成物。
【請求項９】
酸化ストレス疾患を治療するための、請求項１～８のいずれか一項に記載の医薬組成物。
【請求項１０】
前記酸化ストレス疾患が、筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋ジストロフィー、アルツハイマー病、脳梗塞、多発性硬化症、全身性強皮症および口内炎からなる群から選ばれるいずれか１つの疾患である、請求項９に記載の医薬組成物。
【請求項１１】
前記酸化ストレス疾患が、筋萎縮性側索硬化症である、請求項９または１０に記載の医薬組成物。
【請求項１２】
前記第１時間間隔が、間欠投与または毎日投与の投薬期間中の時間間隔である、請求項１～１１のいずれか一項に記載の医薬組成物。
【請求項１３】
１回あたりの投与量がエダラボン９０～１２０ｍｇである、請求項１～１２のいずれか一項に記載の医薬組成物。
【請求項１４】
１回あたりの投与量がエダラボン９０～１０５ｍｇである、請求項１～１２のいずれか一項に記載の医薬組成物。
【請求項１５】
１日あたりの投与回数が１回であり、１回あたりの投与量がエダラボン１０５ｍｇである、請求項１～１４のいずれか一項に記載の医薬組成物。